

平成29年度 第1回高知支部評議会 議事録

開催日時 平成 29年 6月13日(火) 15時00分～17時00分

開催場所 県立県民文化ホール4階 第7・8多目的室

出席評議員 被保険者代表・・・田平正博 島内 勉 折田晃一
事業主代表・・・嘉数 実
学識経験者・・・遠山 仁 横川和博 入福聖一

議題

議題1 平成29年度高知支部事業の重点事項について

議題2 その他

議事概要

○事務局から各議題について資料に基づき説明を行う

(主な意見は次の通りです)

◆議題1 平成29年度高知支部事業の重点事項について

(高知県のジェネリック医薬品使用割合が低いことについて)

【評議員】 若年層のジェネリック医薬品使用割合が低い理由はわかりますか？

【事務局】 市町村によって違いはありますが、全国的にこの年齢層の使用割合は低い傾向にあります。

なかでも、高知支部での他の年齢層の使用割合は他県と比較して6%前後低い状態なのに対して、0～4歳の使用割合は10%以上も低い状態です。乳幼児への医療費助成により医療機関等の窓口での自己負担がないことが原因の一つであると思いますが、それだけではなく、市町村の取り組みや、病院・薬局の意識なども影響していると思います。

これらの薬への認識や、ジェネリック医薬品への切り替えの理解を訴えていけないといけないのですが、なかなか理解が進んでいないのが実感です。

【評議員】 協会けんぽに加え、市町村からの働きかけも必要だという話ですが、市町村への働きかけはどこが行うのですか。

【事務局】 このあたりを、本当は県と一緒にやりたいところですが……。認識や理解を得やすいジェネリック医薬品もあるということを訴えないとなかなか広まらないと思います。

【評議員】 資料に掲載されている使用割合は協会けんぽだけの数字ですか。他の保険者も含めたデータを掲載していて、保険者間で違いがあれば、協会けんぽ高知支部はこういう理由で高い低いというのが見えてくると思ったのですが…。

【事務局】 協会けんぽの方が市町村より若干高いが、全国の下から3番目という順位は同じです。分からないのが、医師や患者の理解が得られないのが原因であれば、全国との差は年々広がるはずですが、差は広がらないという部分です。

(支部の保健事業の説明を受けて)

【評議員】 働き盛りの男性の死亡者数が多いのは気になりますが、原因は血圧ですか。

【事務局】 生活習慣病による部分が大きく、その生活習慣病には高血圧が大きく関係していると考えています。

【評議員】 では、高知県民はなぜ血圧が高いのですか。

【事務局】 遺伝や食事、お酒、運動習慣などいろいろな原因が考えられ、原因の特定は難しいと思います。

【評議員】 運動した場合は、どれくらいの期間で効果が出るものですか。

【事務局】 ウォーキングでふくらはぎの筋肉を動かすことによって降圧効果が認められていますが、最低でも30分以上のウォーキングを6週間続けないとけないようです。

◆議題 2 その他

(次回開催について説明)

- 特記事項 傍聴人 1 名
次回開催は 7 月開催